

契約当事者市町別の相談件数

令和6年度（令和6年4月～令和7年3月）

市町名	R6年度件数	R5年度件数	増減	対前年度比	市町名	R6年度件数	R5年度件数	増減	対前年度比
津市	361	364	-3	99.2%	朝日町	17	25	-8	68.0%
四日市市	182	148	34	123.0%	川越町	17	28	-11	60.7%
伊勢市	58	54	4	107.4%	多気町	25	30	-5	83.3%
松阪市	117	145	-28	80.7%	明和町	33	38	-5	86.8%
桑名市	100	97	3	103.1%	大台町	10	20	-10	50.0%
鈴鹿市	88	110	-22	80.0%	玉城町	9	16	-7	56.3%
名張市	81	69	12	117.4%	度会町	10	14	-4	71.4%
尾鷲市	7	7	0	100.0%	大紀町	6	5	1	120.0%
亀山市	29	32	-3	90.6%	南伊勢町	10	8	2	125.0%
鳥羽市	9	11	-2	81.8%	紀北町	15	16	-1	93.8%
熊野市	33	24	9	137.5%	御浜町	16	15	1	106.7%
いなべ市	68	85	-17	80.0%	紀宝町	8	9	-1	88.9%
志摩市	20	29	-9	69.0%					
伊賀市	79	84	-5	94.0%	県内不明	48	53	-5	90.6%
木曽岬町	9	15	-6	60.0%	県外・不明	132	105	27	125.7%
東員町	59	28	31	210.7%					
菰野町	55	39	16	141.0%	合計	1,711	1,723	-12	99.3%

相談件数は、県センターの所在地である津市が最も多く、続いて、四日市市、松阪市、桑名市、鈴鹿市の順になっています。

※消費生活苦情相談件数のみの集計です。